



気仙沼市 社協だより

編集
発行

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

《公式ホームページ》<http://kesennuma-shakyo.jp/>

《スマートフォン用QRコード》

スマホをお持ちの方は、こちら
からホームページを見ることが
できます。



本 所 ◆ 気仙沼市東新城二丁目1番地2
TEL 0226-22-0709 / FAX 0226-22-4467
E-mail : keshakyo@watch.ocn.ne.jp

唐桑支所 ◆ 気仙沼市唐桑町石浜282番地3(唐桑保健福祉センター「燦さん館」内)
TEL 0226-31-2051 / FAX 0226-31-2052
E-mail : karakuwa-shakyo@ceres.ocn.ne.jp

本吉支所 ◆ 気仙沼市本吉町津谷館岡51番地6
TEL 0226-42-2231 / FAX 0226-42-1241
E-mail : moto-sha@kind.ocn.ne.jp



子どもたちの通学を見守ります

市内の各所では、街頭で行う見守りに加えて、散歩中や自宅周辺で行われる「ながら見守り」など、民生委員や有志の方々が子どもたちの通学の安全を守っています。活動に参加される方々は、揃いのベストやジャンパー等を身に着けて「おはようございます」「いってらっしゃい」「気を付けて帰ってね」など、子どもたちに声掛けや安全誘導を行います。

たくさんの温かいまなざしに見守られながら、子どもたちは今日も元気に学校に通います。



新年度のご挨拶

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会

会長 齊藤 典夫

本会の活動に対しまして、市民の皆様には特段のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の猛威に戦々恐々の日々だったと思います。改めて、目に見えぬものに対する恐怖を身に染みて感じた一年でありました。

本会でも地域福祉を推進する団体として、地域の様々なイベントやお茶会などに参加させていただき、地域の方々と顔の見える関係を築いてまいりましたが、感染予防対策の観点から、行事の中止あるいは規模の縮小に伴い、地域との接点が少なくなる状況が出てきました。地域で活動されている団体においても、近所との付き合いが減少したことで、「安否確認が取りにくい」、「話し相手がいなくて寂しい」など、地域でも活動に苦慮されている声をいただきました。また、世帯収入の減少等により、生活困窮に陥る世帯からの相談が急激に増加し、これまで高齢者からの相談が多く寄せられておりましたが、現在は若い世代からの相談

が増えております。本会では住民の生活を守るために、生活福祉資金貸付の相談等、生活の窮状を訴える市民の声を聴き、可能な限り対応をさせていただいております。

これまで当たり前であった日常が、新型コロナの影響によって、当たり前の日常ではなくなりました。しかしながら、今ではこの生活が日常になりつつあります。まずは、この現状を受け入れながら、地域福祉を推進する団体として、どうすればその役割を果たせるのか、地域の皆様とともに誰かが住み慣れた地域で、自分らしく生き生きと暮らすことができる地域づくりに邁進する所存でございます。

本年度も多くの関係機関や関係者の皆様の深いご理解を賜り、役職員一同引き続き信頼と期待に沿えますよう事業の推進に努めてまいります。

今後とも皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。新年度のご挨拶といたします。

社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会 令和3年度事業計画

令和3年3月に開催されました理事会及び評議員会にて、令和3年度の事業計画について承認をいただきました。今年度は5つの重点目標を掲げ、この目標を基本としながら各種事業（次ページのとおり）に取り組んでまいりますので、地域の皆様のご支援ご協力について、何卒よろしくお願い申し上げます。

【重点目標】

- ① 地域福祉活動計画の推進
 - (1) 地域福祉活動推進のための担い手育成強化
 - (2) 地区社協等の活動支援
 - (3) 災害公営住宅等のコミュニティ活性化のための支援
- ② 地域共生社会の実現に向けた取り組みの拡充
 - (1) 地域包括ケアシステム構築への取り組み
- ③ 介護保険事業・障害者福祉サービス事業への対応
- ④ 生活支援体制整備事業の取り組み
 - (1) 支え合いの大切さを伝える啓発活動
 - (2) 地域課題の解決に向けた支援
 - (3) 継続性と連携のあるつながる話し合いの場づくり
 - (4) フレイル予防と高齢者の社会参加の促進
- ⑤ 組織体制改革と経営基盤の強化
 - (1) 組織体制への対応
 - (2) 組織の見直しと経営基盤の確立



主な事業内容

1 法人運営事業

- ・理事会、評議員会、監査会の開催
- ・苦情解決責任者及び第三者委員の設置
- ・評議員選任・解任委員会の適時開催
- ・委員会の開催

2 地域福祉事業

- ・地域福祉活動計画の推進
- ・地区社協活動への支援
- ・ふれあい相談センターの運営
- ・小地域福祉活動の推進
- ・地域包括ケアシステムの構築推進
- ・広報紙、ホームページによる情報提供

3 ボランティアセンターの運営

- ・ボランティア活動の相談、調整事業
- ・各種ボランティア養成講座、研修会の開催
- ・ボランティア交流会の開催
- ・ボランティア保険等の活動支援

4 福祉教育

- ・福祉教育活動費補助金交付事業の実施
- ・敬老作文コンクール事業

5 資金貸付事業

- ・生活福祉資金貸付事業
- ・生活安定資金貸付事業

6 援護活動

- ・火災による被災世帯に対する見舞金等の支給事業
- ・歳末たすけあい募金配分事業
- ・交通・海難等遺児に対する就学支援費の支給事業

7 生活支援・障害福祉事業

- (1) 在宅障がい者福祉事業
- ・障がい者福祉の推進（交流会、録音・点訳サービス等）
- ・ガイドヘルパー派遣事業
- (2) 指定障害福祉サービス事業
- ・多機能型事業所の運営
- ・生活介護事業
- ・共同生活援助事業
- ・居宅介護事業



住民懇談会

8 在宅福祉事業

- ・同行援護事業
- ・児童発達支援事業
- ・放課後等デイサービス事業
- ・保育所等訪問支援事業
- ・障害児等療育支援事業
- ・特定相談支援事業
- (3) 地域生活支援事業
- ・訪問入浴事業
- (1) 在宅福祉事業
- ・移送サービス事業
- ・在宅ふれあい型交流事業
- ・安否確認訪問サービス事業
- ・介護機器貸出事業
- (2) 指定介護保険事業
- ・居宅介護支援事業
- ・訪問介護事業
- ・訪問入浴介護事業
- ・指定通所介護事業
- ・認知症対応型共同生活介護事業
- ・福祉用具貸与事業
- ・特定福祉用具販売事業

9 日常生活自立支援事業

- ・まもりーぶ事業

10 市受託事業

- ・生活支援体制整備事業
- ・生活援助員（LSA）事業
- （西地区高齢者相談室）
- ・地域包括支援センター運営事業

11 団体事務

- ・気仙沼市民生委員児童委員協議会
- ・本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会
- ・気仙沼市共同募金委員会
- ・気仙沼市ボランティア連絡会
- ・気仙沼市老人クラブ連合会
- ・本吉町老人クラブ連合会
- ・本吉町遺族会
- ・気仙沼市本吉地区小規模法人連携事業協議会



あなたのやさしさちょこっとおすそ分け見守りボランティア講座



グループホーム桑の実



社会福祉法人 気仙沼市社会福祉協議会 令和3年度 資金収支予算書

(自) 令和3年4月1日

(至) 令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算額	勘定科目		予算額		
事業活動による収支	収入	会費収入	8,126,000	施設整備等による収支	収入 施設整備等収入計 (4)	0	
		寄附金収入	512,000		支出	固定資産取得支出	732,000
		経常経費補助金収入	52,076,000			ファイナンス・リース債務の返済支出	3,079,000
		受託金収入	159,078,000			施設整備等支出計 (5)	3,811,000
		貸付事業収入	192,000			施設整備等資金収支差額 (6)=(4)−(5)	
		事業収入	2,437,000	その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	65,988,000
		負担金収入	400,000			事業区分間繰入金収入	5,000,000
		介護保険事業収入	382,240,000			拠点区分間繰入金収入	117,154,000
		就労支援事業収入	8,098,000			サービス区分間繰入金収入	304,000
		障害福祉サービス等事業収入	186,542,000			その他の活動による収入	1,355,000
		受取利息配当金収入	19,000			その他の活動収入計 (7)	189,801,000
		その他の収入	1,912,000		支出	積立資産支出	61,449,000
	事業活動収入計 (1)	801,632,000	事業区分間繰入金支出			5,000,000	
	支出	人件費支出	563,826,000			拠点区分間繰入金支出	117,154,000
		事業費支出	132,327,000			サービス区分間繰入金支出	304,000
		事務費支出	84,491,000			その他の活動による支出	22,133,000
		就労支援事業支出	8,098,000			その他の活動支出計 (8)	206,040,000
		貸付事業支出	250,000			その他の活動資金収支差額 (9)=(7)−(8)	
		助成金支出	5,696,000	予備費支出 (10)		0	
		負担金支出	593,000	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)−(10)		▲ 14,639,000	
		その他の支出	940,000	前期末支払資金残高 (12)		141,738,979	
		事業活動支出計 (2)	796,221,000	当期末支払資金残高 (11)+(12)		127,099,979	
		事業活動資金収支差額 (3)=(1)−(2)		5,411,000			

「福寿荘の集い」が「いきいき福寿草」に

本会が市から指定管理を受け運営していた、気仙沼市老人福祉センター「福寿荘」が令和3年3月31日をもって閉館となりました。

4月からは、福寿荘で実施していた集いなどの事業を、生きがい活動支援通所事業として市から受託し、市民福祉センター「やすらぎ」(鹿折)を拠点に、「やすらぎ」・公民館等で事業を実施しています。馴染みのある「福寿荘」という響きを残し、漢字を変え『いきいき福寿草』の名称で実施しています。

福寿荘にあった事務局も「やすらぎ」内に移り、電話番号の変更ありません。

職員一同、利用者さんの生きがいや交流等の支援に努めてまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。

(いきいき福寿草 電話 23-1022)

フードドライブ運動を支援しています

市民有志の団体「フードバンク気仙沼」では、家庭で余っている食品を必要な人に届ける「フードドライブ」運動を展開しています。

米、乾麺、缶詰、レトルトなどで、賞味期限が1カ月以上残っていて、常温保存が可能なものを受け付けており、開封済みのものや生鮮食品、酒類は対象外です。

本会でも玄関正面奥に、3月から回収ボックスを常設で設置し、市民団体の活動を支援しています。

家庭で眠っている食材がありましたら、提供お願いします。





まもりーぶ

～あなたの暮らしの安心のために～

日常生活自立支援事業

日常生活自立支援事業とは、高齢者や障がいのある方々が、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用手続きや、生活費などの日常的な金銭管理のお手伝いをし、その生活を支える事業です。

福祉サービスの
手続きがわからない…

市役所から送付される
書類の内容が
よくわからない…

？

お金や通帳を
片付けた場所をよく忘れて
しまうから心配…

計画的に
お金を使いたいけれど
うまくいかない…

そんな時は

気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター

〒988-0066 気仙沼市東新城2-1-2
気仙沼市社会福祉協議会内
電話 23-1182 FAX 22-4467

どんなことをしてくれるの？

- 1 利用援助サービス〈基本事業〉**
福祉サービスの利用手続きや市役所等から届いた書類確認のお手伝いをします。
- 2 金銭管理サービス〈オプション〉**
生活に必要なお金の出し入れや、公共料金等の支払いをお手伝いします。
- 3 あずかりサービス〈オプション〉**
通帳や印鑑など、大切な書類を安全な場所でお預かりします。

「まもりーぶ」は、
権利を「まもる」の意味と
信頼を意味する「びりーぶ」を
組み合わせた
宮城県だけの呼称です。

どんな人が利用できるの？

- 認知症や知的・精神障がいなどにより福祉サービスの利用やお金の管理など暮らしの中で不安のある方。
- 判断するとき支援が必要な方。
- 「まもりーぶ」の契約内容を理解できる方。
- 「まもりーぶ」の利用意思がある方。





支え合いの地域づくりを推進します



本会は、気仙沼市より生活支援体制整備事業を受託し、支え合いの地域づくりに取り組んでいます。この事業は、高齢者等の社会参加、生きがいづくり、身近な地域での介護予防の場づくりをすすめ、住み慣れた地域でつながりを持ち暮らし続けられるよう、地域住民の皆さんが主体となった助け合い・支え合いの活動ができる「地域づくり」に取り組むものです。

その推進・調整役を担うのが、「地域支え合い推進員」です。今年度より、市内16地区社協圏域毎に本会職員9人を専任の「地域支え合い推進員」として配置しました。

地域団体や関係の皆様、そして住民の方々と一緒に、地域の支え合い活動が推進するよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



（※撮影時のみマスクを外しています）

地域での見守りや
支え合い活動を
一緒に考えます！

地域の支え合い活動
「お宝」情報を収集・
紹介します！

いつでも
お声がけください。

電話：22-0709(社協代表)
直通電話：22-0722

「ワイワイ・
ガヤガヤ」と
地域のことを
楽しく話し合う
場づくりの
お手伝いします！

気仙沼市地区 四ツ葉会の研修会が開催されました

3月13日（土）本吉公民館にて、気仙沼市地区赤十字奉仕団四ツ葉会が新型コロナウイルス感染症について研修会を行いました。



感染対策への取り組みについての意見を交わし、「コロナの関係で事業が思うようにできなかったが、11月に感染対策に十分配慮した上で高齢者へおはぎの配達を行った。」「この事業を待っている方もおり、御礼の言葉や電話を頂き、大変喜ばれた。実施して良かった。」との声が聞かれました。

会長の大内さんは「早く四ツ葉会として、楽しく活動ができる日が来ることを願ってます」とお話しされていました。

気仙沼市社協オリジナルマスコットキャラクター デザインまだまだ募集中!!!

本会を「地域の皆さんにもっと知ってもらいたい」「身近に感じてもらいたい」という思いと、更なる地域福祉の推進を図るため、地域の皆さんに愛されるようなマスコットキャラクターのデザインを大募集！！



【応募締切】令和3年5月31日

※市内・外、プロ・アマ問わず
どなたでも応募いただけます。

詳しくは、ホームページから募集要項をご覧ください。か、本会(電話 22-0709)までお問合せください。



コロナ禍でみんなどう過ごしていますか？ お便りが生活のヒントと地域のつながりに

後沢2区(松岩地区)婦人部によるお便り発行

地域で取り組まれているお茶のみなどの交流の場や、生きがい活動なども自粛を余儀なくされていますが、後沢2区婦人部では、行事を持たない代わりに、地域でのつながりが持てるような何かができないだろうか話し合い、去る11月に自治会内に向けて「婦人部便り」(回覧)を発行しました。

各班の班長が日々の生活について気になっていることや取り組んでいることなどを写真も交えながら伝えており、とてもほっこりする内容になっています。

お便り発行当時、婦人部長だった廣野さんは「作成にあたっては、自治会副会長さんから紙面のレイアウトなど、たくさん協力をもらい、とても良いものができた。」とお話していました。



Point

コロナで何もできないと諦めずに、何かできるのではとみんなで知恵を出し合うことで新たな取り組みが生まれるかもしれません。

ぜひ一歩前に踏み出してみましょう。市社協も一緒に考えていきますのでお気軽に声をかけてください。

「ヘルプカード」をご存じですか？

ヘルプカードは、外出先で困った時や緊急時に必要な手助けや配慮を周囲の人に伝えるためのカードです。

障がいのある方や高齢者だけでなく、見た目には分からない持病のある方や妊婦さんなど必要な方はどなたでも携帯できます。



【配布先】

気仙沼市役所(各総合支所)、市民健康管理センターすこやか、本吉保健福祉センターいこい、市立病院、本吉病院、各地域包括支援センター、気仙沼市障害者生活支援センター、気仙沼市社会福祉協議会(本所・各支所)など

支援する方へのお願い

ヘルプカードの中には、その方の緊急連絡先や手助けしてほしいことが書いてあります。地域の中で、困った様子の方を見かけたら「ヘルプカードを持っていますか？」と声を掛けてみてください。



誰もが安心して暮らしていける地域を目指し、皆様のご協力をお願いします。



気仙沼市社協地域支え合い活動推進モデル地区社協 活動報告

大谷地区「大谷前浜地域振興会」

今後も地域の強みである、住民同士のつながりと支え合いを大事にしながら、見守り活動を継続していく予定です。



とも多く、代わりに認知症予防として脳トレのプリントを全戸配布しました。配布の際に、地域の高齢者や一人暮らしの方々が孤立しないよう、気に掛けながら地域の見守り活動を併せて行いました。改まってではなく、訪問時の何気ない会話でも地域内の情報交換を行い、気になる方への声掛けなども行いながら実施することで、住民同士の見守りが強固なものとなりました。



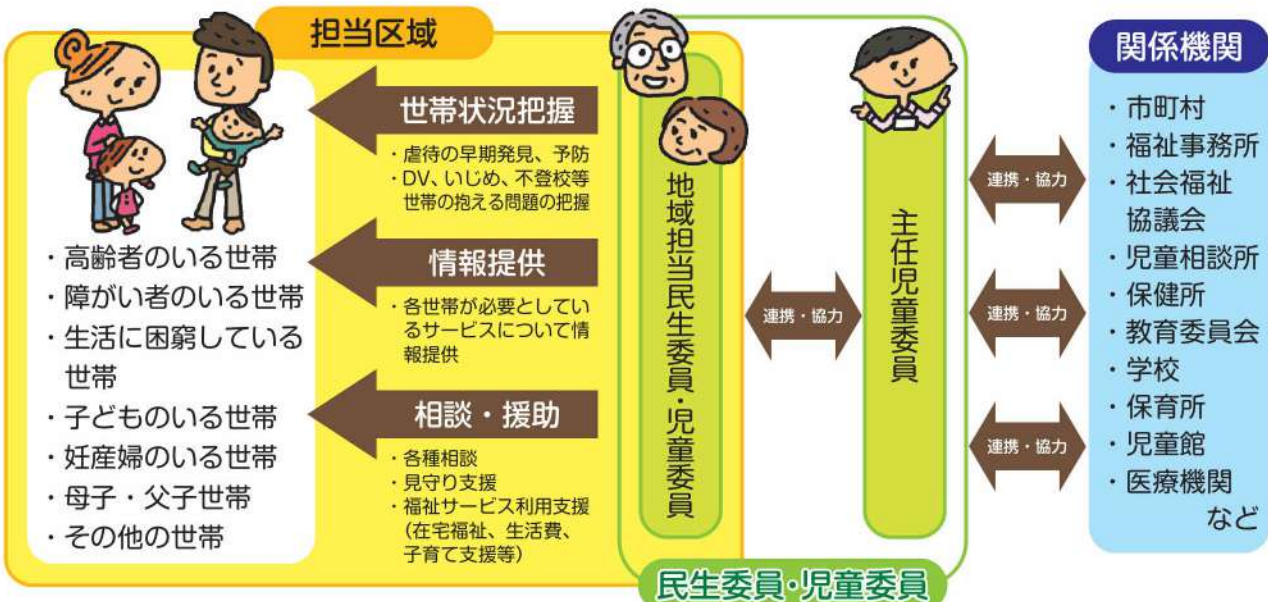
大谷地区社協では、令和元年10月よりモデル地区社協事業の指定を大谷前浜地域振興会の見守り活動の推進事業として受け取り組みを進めてきました。この地域は、地域行事や活動も地域一体となり、取り組んでいる結束力の強い地域です。交流サロンも地域振興会が主体となり、毎月2回実施していましたが、コロナウィルスの関係で、みんなで集まって行う活動は思うように進められないことも多く、代わりに認知症予防として脳トレのプリントを全戸配布しました。配布の際に、地域の高齢者や一人暮らしの方々が孤立しないよう、気に掛けながら地域の見守り活動を併せて行いました。改まってではなく、訪問時の何気ない会話でも地域内の情報交換を行い、気になる方への声掛けなども行いながら実施することで、住民同士の見守りが強固なものとなりました。

ご存じですか？ あなたの身近な相談相手「民生委員・児童委員」

地域福祉をサポートする身近な相談相手です

社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活全般に関する相談・援助活動を行っています。

地域社会のつながりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人や、障がいのある方・高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。そこで、民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めます。



民生委員・児童委員には守秘義務があります。また個人の人格を常に尊重することも義務付けられています。悩みや困りごとがありましたら気軽に民生委員・児童委員にご相談ください。

市内には現在170人の民生委員・児童委員が活動しています。お住いの地域担当の委員を知りたい場合は、本会までお問い合わせください。(気仙沼市民生委員児童委員協議会 電話 22-0709)

